

北海道大学大学院情報科学研究科

平成 29 年度（前期）研究科 RA

申請調書

RA として従事していただく職務内容を判断するために、現在進めている研究について下記の記載をお願いします。日本学術振興会特別研究員の研究計画調書と類似しており、同調書の内容を参考に記載していただいて構いません。なお、研究業績・活動実績を証明する書類の添付は不要です。

※指導教員（又は推薦者）は、本調書の記載内容を確認の上、誤り等が無ければ、署名押印願います。

指導教員 (推薦者)	氏 名 (署名)	印	職 名	
---------------	-------------	---	-----	--

1. 現在までの研究状況 (図表を含めてもよいので、わかりやすく記述すること。様式の改変・追加は不可(以下同様))

① 研究の背景、問題点、解決方策、研究目的、研究方法、特色と独創的な点について当該分野の重要文献を挙げつつ記述すること。

② 申請者のこれまでの研究経過及び得られた結果について、問題点を含め①で記載したことと関連づけて説明すること。

なお、これまでの研究結果を論文あるいは学会等で発表している場合には、それらの内容を記述すること。

① 研究背景、問題点、解決方策、研究目的、研究方法、特色と独創的な点

② これまでの研究経過及び得られた結果 (博士1年次で研究に着手したばかりの者は、記入しなくてもよい)

氏名_____

(現在までの研究状況の続き)

2. これからの研究計画（本年度に学位取得を目指すものは、これまでの研究計画を含み記載しても構わない）

(1) 研究の背景

1. で述べた研究状況を踏まえつつ、これからの研究計画の背景、問題点、解決すべき点、着想に至った経緯等について参考文献を挙げて記入すること。

氏名_____

(2) 研究目的・内容 (図表を含めてもよいので、わかりやすく記述すること)

- ①研究目的、研究方法、研究内容について記述すること。
- ②どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入すること。
- ③なお共同研究の場合には、申請者が担当する部分を明らかにすること。
- ④研究計画の期間中に異なった研究機関（外国の研究機関等を含む）において研究に従事することを予定している場合はその旨を記載すること。

①研究目的、研究方法、研究内容について記述すること。

②どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入すること。

氏名_____

(3) 研究の特色・独創的な点

次の項目について記載すること。

- ①これまでの先行研究等があれば、それらと比較して、本研究の特色、着眼点、独創的な点
- ②国内外の関連する研究の中での当該研究の位置づけ、意義
- ③本研究が完成したとき予想されるインパクト及び将来の見通し

①本研究の特色、着眼点、独創的な点

②国内外の関連する研究の中での当該研究の位置づけ、意義

③本研究が完成したとき予想されるインパクト及び将来の見通し

(4) 年次計画（本年度に学位の取得を目指すものは、これまでの研究計画を含み記載しても構わない）

（1年目）

（2年目）（本年度に学位の取得を目指すものは記入しなくてもよい）

（3年目）（短縮修了予定の場合は記入しなくてもよい）

氏名_____

3. **第一著者として**発表した研究業績・活動実績（平成 26・27・28 年度）

申請者にアンダーラインを付して、次項以降に年度ごとに分けて記載すること。

(1) 学術雑誌等（紀要・論文集等を除く）に発表した原著論文、著書（査読があるもので、印刷済及び平成 29 年 3 月 31 日までに採録決定済のものに限る）

(1-1) 学術雑誌等（紀要・論文集等を除く）に発表した原著論文、著書で査読があるもの（フルペーパー）

著者（申請者を含む全員の氏名を、論文等と同一の順番で記載する）、題名、掲載誌名、巻号、pp 開始頁－最終頁、発行年をこの順で記入すること。

(1-2) 学術雑誌等（紀要・論文集等を除く）に発表した原著論文、著書で査読があるもの（レター）

著者（申請者を含む全員の氏名を、論文等と同一の順番で記載する）、題名、掲載誌名、巻号、pp 開始頁－最終頁、発行年をこの順で記入すること。

(2) 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説

(3) 国際会議における発表（会議録(プロシーディング)があるもので、平成 29 年 3 月 31 日までに発表したものに限る）

(3-1) 国際会議における発表（査読あり）

口頭・ポスターの別を区分して、著者（申請者を含む全員の氏名を、論文等と同一の順番で記載する）、題名、プロシーディングス等名称、巻号または論文等の番号、場所、月・年を記載すること。発表者に○印を付すこと。

ただし、国際会議の特集号の原著論文（査読者との対話が可能な査読プロセスを経たもの）として論文誌・学術誌等に掲載されたものは上記の(1-1)または(1-2)に記載すること。

(3-2) 国際会議における発表（査読なし）

口頭・ポスターの別を区分して、著者（申請者を含む全員の氏名を、論文等と同一の順番で記載する）、題名、プロシーディングス等名称、巻号または論文等の番号、場所、月・年を記載すること。発表者に○印を付すこと。

(4) 国内学会・シンポジウム等における発表（平成 29 年 3 月 31 日までに発表したもの）

(4-1) 国内学会・シンポジウム等における発表（査読あり）

(3-1)と同様に記載すること。

(4-2) 国内学会・シンポジウム等における発表（査読なし）

(3-2)と同様に記載すること。

(5) 特許等

申請中、公開中、取得を明記すること。ただし、申請中のもので詳細を記述できない場合は概要のみでよい。

(6) その他（平成 29 年 3 月 31 日までの受賞歴等）

(7) 第一著者として発表した業績の件数

第一著者として発表した業績の件数を年度ごとに入力すること。

氏名_____

(1) 学術雑誌等（紀要・論文集等を除く）に発表した原著論文、著書（査読があるもので、印刷済及び平成 29 年 3 月 31 日までに採録決定済のものに限る）

(1-1) 学術雑誌等（紀要・論文集等を除く）に発表した原著論文、著書で査読があるもの（フルペーパー）

著者（申請者を含む全員の氏名を、論文等と同一の順番で記載する）、題名、掲載誌名、巻号、pp 開始頁－最終頁、発行年
をこの順で記入すること。

平成 28 年度

平成 27 年度

平成 26 年度

(1-2) 学術雑誌等（紀要・論文集等を除く）に発表した原著論文、著書で査読があるもの（レター）

著者（申請者を含む全員の氏名を、論文等と同一の順番で記載する）、題名、掲載誌名、巻号、pp 開始頁－最終頁、発行年
をこの順で記入すること。

平成 28 年度

平成 27 年度

平成 26 年度

(2) 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説

平成 28 年度

平成 27 年度

平成 26 年度

氏名_____

(3) 国際会議における発表（会議録(プロシーディング)があるもので、平成 29 年 3 月 31 日までに発表したものに限る)

(3-1) 国際会議における発表（査読あり）

口頭・ポスターの別を区分して、著者（申請者を含む全員の氏名を、論文等と同一の順番で記載する）、題名、プロシーディングス等名称、巻号または論文等の番号、場所、月・年を記載すること。発表者に○印を付すこと。

ただし、国際会議の特集号の原著論文（査読者との対話が可能な査読プロセスを経たもの）として論文誌・学術誌等に掲載されたものは上記の(1-1)または(1-2)に記載すること。

口頭発表

平成 28 年度

平成 27 年度

平成 26 年度

ポスター発表

平成 28 年度

平成 27 年度

平成 26 年度

(3-2) 国際会議における発表（査読なし）

口頭・ポスターの別を区分して、著者（申請者を含む全員の氏名を、論文等と同一の順番で記載する）、題名、プロシーディングス等名称、巻号または論文等の番号、場所、月・年を記載すること。発表者に○印を付すこと。

口頭発表

平成 28 年度

平成 27 年度

平成 26 年度

ポスター発表

平成 28 年度

平成 27 年度

平成 26 年度

氏名_____

(4) 国内学会・シンポジウム等における発表（平成29年3月31日までに発表したもの）

(4-1) 国内学会・シンポジウム等における発表（査読あり）

(3-1)と同様に記載すること。

口頭発表

平成28年度

平成27年度

平成26年度

ポスター発表

平成28年度

平成27年度

平成26年度

(4-2) 国内学会・シンポジウム等における発表（査読なし）

(3-2)と同様に記載すること。

口頭発表

平成28年度

平成27年度

平成26年度

ポスター発表

平成28年度

平成27年度

平成26年度

氏名_____

(5) 特許等

申請中、公開中、取得を明記すること。ただし、申請中のもので詳細を記述できない場合は概要のみでよい。

平成 28 年度

平成 27 年度

平成 26 年度

(6) その他（平成 29 年 3 月 31 日までの受賞歴等）

平成 28 年度

平成 27 年度

平成 26 年度

(7) 第一著者として発表した業績の件数

		26 年度	27 年度	28 年度	計
1-1	論文（査読あり）フルペーパー				
1-2	論文（査読あり）レター				
2	学術雑誌等における解説・総説				
3-1	国際会議における発表（査読あり）				
3-2	国際会議における発表（査読なし）				
4-1	国内学会等における発表（査読あり）				
4-2	国内学会等における発表（査読なし）				
5	特許等				
6	その他（受賞等）				

氏名_____

4. 自己評価

本事業は、学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成に資することを目的としています。また、RA雇用による経済支援を受けたことにより、みなさんのアクティビティが上がったことが期待されています。このことを踏まえ、これまでの活動並びに今後の活動計画について、具体的な研究業績・研究実績、活動内容等に基づいて自己評価を行ってください。

氏名_____